



令和2年8月26日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会」開催について ～全国の中学生在が都道府県対抗で科学の力を競うオンライン大会～

JST（理事長 濱口 道成）は、「第8回科学の甲子園ジュニア全国大会」の開催中止を受け、下記の日程で「令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会」をオンラインで開催します。

コロナ禍でさまざまな大会中止が相次ぐなど、科学を学ぶことの意義、楽しさを体験する機会や生徒たちの活躍の場が減少し、ニューノーマル時代の教育や科学人材育成のあり方が問われています。こうした状況の下、JSTでは教育とオンラインを組み合わせた新しい科学コンテストの先駆けとして「令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会」を企画しました。

本大会は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の中学1、2年生が各都道府県内で3～6人のチームを編成し、数学や理科の力を競います。チームは「オンライン筆記競技」と「特別体験プログラム」の両方、もしくはいずれかに参加でき、成績は「オンライン筆記競技」の総合得点で決定されます。

また、産学官が協働で支える科学コンテストとして、前年度に続き大会趣旨に賛同した企業および団体が大会への支援を表明しています。

JSTでは、発達段階に応じ才能を伸ばせるような体系的な人材育成に取り組んでいます。本大会や、今年度第10回目を迎える高校生を対象とした「科学の甲子園全国大会」などの事業の実施を通じて、科学好きの裾野を広げ、生徒が才能を十分に発揮し、切磋琢磨する機会を提供していきます。

大会の開催概要は、別紙、または下記ホームページを参照してください。

日 程（詳細は別紙を参照）：

オンライン筆記競技 令和2年12月5日（土）予選、12月12日（土）本選

オンライン表彰式 令和3年1月12日（火）

特別体験プログラム 令和2年11月16日（月）～ 12月21日（月）

URL：<https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

別紙：「令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会」開催概要

<お問い合わせ先>

ラオ ちぐさ、岡田 啓一（オカダ ケイイチ）

科学技術振興機構 理数学習推進部 才能育成グループ

〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル

Tel：048-226-5665 Fax：048-226-5684

E-mail：koushien-jr@jst.go.jp

「令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビジョン大会」開催概要

1. 目的

本大会は、新型コロナウイルス感染症緊急事態措置やそれに伴う休校措置が長期化した状況による「第8回科学の甲子園ジュニア全国大会」の開催中止を考慮した代替大会として、オンラインで実施する大会です。理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とします。

2. 実施・協力体制

- ① 主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）
- ② 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会
- ③ 後援 文部科学省（予定）、全日本中学校長会（予定）、全国中学校理科教育研究会（予定）
公益社団法人 日本理科教育振興協会
都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

3. 開催日程

- ① エントリー期間：
令和2年11月16日（月）10：00から令和2年11月27日（金）17：00まで
- ② 実施日時は下記の通りです。（行事は変更される場合があります。）

オンライン開会式	令和2年12月5日（土）13：00～13：30（予定）
オンライン筆記競技予選	令和2年12月5日（土）14：00～15：00
オンライン筆記競技予選結果発表	令和2年12月10日（木）15：00
オンライン筆記競技本選	令和2年12月12日（土）14：00～15：00
オンライン表彰式（本選結果発表）	令和3年1月12日（火）16：00～16：30（予定）
特別体験プログラム	令和2年11月16日（月）～12月21日（月）
特別体験プログラム結果公開	令和3年1月18日（月）から順次公開（予定）

4. エントリーについて

- ・ エントリーの単位は、1チーム3人以上6人以内とします。同一都道府県内であれば学校が異なっても編成は可能です。
- ・ エントリー資格は、中学校1年生および2年生相当の生徒とします。
- ・ エントリーはオンライン筆記競技と特別体験プログラムについて行います。特別体験プログラムのみ参加する場合もエントリーを行います。
- ・ エントリーの方法については、各都道府県教育委員会を通じて各学校に改めてご連絡いたします。

5. 競技内容

- ・ オンライン筆記競技は、PCなどを用い、自宅や学校で競技に取り組む形式です。実施場所は感染状況を踏まえ、代表者、および参加者が判断します。

- ・ オンライン筆記競技時にチームメンバー内の相談は可能（状況によりビデオ会議や電話等も活用可能）とします。ただし、解答にあたって教科書、参考図書、WEB上の情報、チーム外の人物からのアドバイスなどを参考にすることはできません。
- ・ オンライン筆記競技は予選と本選から構成されます。
- ・ 予選の結果により本選出場チームが選抜されます。具体的には、以下のいずれかもしくは両方に該当するチームが本選に進むことができます。
 - ① 各都道府県内で予選1位のチーム
 - ② ①のチームも含めた全体予選順位で上位50位以内のチーム
- ・ 本選と予選の内容は以下の通りです。

（予選）

 - ・ 6分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題されます。
 - ・ 配点は、各分野50点の合計300点です。
 - ・ 競技時間は60分です。
 - ・ 各分野におけるチーム内の最高得点を当該分野のチームの得点とします。例えば、物理の分野において、Aさん：10点、Bさん：0点、Cさん：0点、Dさん：30点、Eさん：20点、Fさん：0点だった場合、物理分野におけるチームとしての得点は30点（チーム内の最高得点であるDさんの得点）となります。

（本選）

 - ・ 6分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題されます。
 - ・ 配点は、各分野50点の合計300点です。
 - ・ 競技時間は60分です。

6. 特別体験プログラム

- ・ 科学の甲子園ジュニアの実技課題を体験してもらうため、特別体験プログラムを行います。
- ・ 実技課題は、各チームメンバーが自宅にいても、ビデオ会議や電話などでコミュニケーションを取りながら実施できる内容を出題します。
- ・ 実技課題は、順位付けや表彰は行わない体験プログラムとして位置づけます。
- ・ 特別体験プログラムのみの参加も可能です。

7. 表彰など

- ・ オンライン筆記競技（本選）の総合得点（全分野の合計得点）で総合順位を算出し、総合順位5位までと各分野の最上位チームを表彰します。
- ・ 表彰対象の順位において、同点のチームが出た場合は、予選の結果も踏まえて表彰対象のチームを決定します。
- ・ 表彰対象のチームは、チーム名、学校名、都道府県名をホームページなどで公表します。
- ・ 特別体験プログラムで提出された実施結果（記録情報や動画、写真など）はホームページなどで一般公開します。

8. その他

- ・ PCなどの端末の準備および通信費については参加者負担となります。

以上